

このページは、小・中学生に向けて
 梅光学院大学子ども学部子ども
 未来学科(地域共生ゼミ)の学生が
 作っています。

※イラスト 武下侑介さん、西田智則さん

しものせき キッズページ

「考古博物館の
 はなし」



▲正面玄関を入るとすぐに見えてくるのが、この原寸大の貯蔵
 用竪穴で働く弥生人と遺跡を発掘する現代人の人形。

●●●●● 考古博物館って どんな所?



下関市立考古博物館は、1999
 5(平成7)年5月13日、国の史跡
 である綾羅木郷遺跡の隣に開館し
 ました。来館者が楽しみながら学
 習できるよう、史跡や博物館を、
 学習の場・研究の場として提供し
 ています。

博物館には、下関市域を中心と
 した弥生時代の土器や、実際に使
 われた道具や食べ物、古墳時代の
 須恵器や土師器のうつわなどの出
 土品が展示されています。

屋外の遺跡公園には、弥生時代
 の竪穴住居や古墳時代の竪穴住居

が復元され、岩谷古墳は石室の中
 に入ることができます。企画展や
 体験学習、教養講座の開催にも、
 積極的に取り組んでいます。

●●●●● 綾羅木郷遺跡とは?



綾羅木郷遺跡は、川中地区・山
 陰線榎栗郷台駅から徒歩約5分
 の所に位置する西日本最大規模の
 遺跡です。およそ2100年以上
 前の弥生時代集落の遺跡で、約50
 年前の1965年に本格的な発掘
 が始まりました。

遺跡には、食料などを保管する
 ための「貯蔵用竪穴」が約1000
 基以上あります。地面に大きな穴
 を掘って作った地下式倉庫です。
 この遺跡から甕、壺、高坏、磨製
 石包丁、石鎌、石斧、石剣などが
 発見されています。

●●●●● 国の史跡指定と なった理由



工業が発展していた1960年
 代の日本では、特に自動車産業に
 力が入っていました。当時、車の
 エンジンの型を作るのに必要な砂
 を、ベトナムから輸入してしまし
 たが、ベトナム戦争が始まったこ
 とで、不可能となりました。その
 砂が綾羅木郷遺跡で採れることが

わかると、経済の成長のためなら
 遺跡を壊しても仕方がないとする
 人と、大事な文化財である遺跡を
 守らなければならないとする人と
 の間で対立が起きました。ブル
 ドーザーに向かってくる人たちに
 対し、調査員がバリケードをはった
 りと、対立は続きました。1969
 年、国が緊急に「史跡」に指定した
 ことで綾羅木郷遺跡は守られ、現
 在は市民の憩いの場となっています。

●●●●● 下関市にある史跡



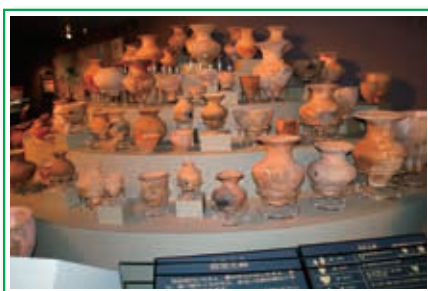
合併前の旧下関市には、約300
 箇所の遺跡や古墳がありました。
 2005年、それらがすでに約300
 箇所ある4町(菊川・豊田・豊浦・
 豊北)と合併したことで下関市の遺
 跡や古墳の数は現在622箇所にな
 りました。中には小学校や中学校な
 どの構内という非常に身近な所に
 あるものもあります。

さて、3月9日に学芸員による
 案内で「史跡の道ウォーク」という
 榎栗浜遺跡・史跡仁馬山古墳を約
 4・5キロ歩くイベントがあります。
 家族や友人と一緒に、歴史の旅を
 してみたいいかがでしょうか?

●●●●●
 考古博物館 電話 254-3061
 住所 下関市大字綾羅木字岡454番地
 入館料 無料



3月号の編集記者(左から)
 武下侑介さん、元村慎吾さん



▲弥生時代のくらしと弥生土器。土器などの日
 常生活用具や勾玉などの装飾品があります。



▲1965年ころの綾羅木郷遺跡の発掘風景。出
 土品は約100万点を数え貴重な遺跡として注
 目されました。